

春日部市交通安全都市宣言の解説

1 宣言名について

宣言名は、交通の安全を確保することによって、市民の生命及び財産を守ることを目指す宣言であることから「春日部市交通安全都市宣言」とします。

2 宣言文について

宣言文は、あらゆる世代の人に分かりやすいよう、前文で本市の現状及び宣言の理念を述べ、その後に市民が取り組む具体的な行動を箇条書きで述べる構成としています。

3 宣言文の内容について

①前文について

春日部市は、主要幹線道路である国道4号・4号バイパスと国道16号が交差し、鉄道では、東武伊勢崎線と東武野田線などが交差する交通の要衝になっています。

○解説

前文の冒頭では、春日部市の交通網の地理的特徴について述べています。

春日部市は、主要幹線道路である国道4号・4号バイパス、国道16号の3本の国道が南北・東西に交差し、鉄道においても同様に、東武伊勢崎線（東京メトロ日比谷線、半蔵門線が乗り入れ）と東武野田線が南北・東西に交差する交通の要衝になっています。

高度経済成長に伴う車社会の進展などにより、わたしたちの生活は便利で豊かなものになりましたが、その反面、交通量の増加や近年の高齢化の進展などにより、尊い命を一瞬で奪う交通事故が恒常的に多発しています。

○解説

昭和30年代から40年代にかけての高度経済成長に伴う車社会の進展などにより、わたしたちの生活は便利で豊かなものになりました。

しかし、その反面、自動車台数の増加や生活スタイルの夜型化などの生活形態の多様化、また、近年の高齢化の進展による高齢者人口の増加などにより、尊い命を一瞬で奪う交通事故が恒常的に多発している状況にあります。

交通事故を撲滅するには、道路交通環境の整備を推進するとともに、市民一人ひとりが社会を構成する一員であることを自覚し、行動することが重要です。

わたしたちは、交通事故のない、安全で安心して暮らせるまちを実現するため、ここに「交通安全都市」を宣言します。

○解説

交通事故のないまちは、全ての市民の願いです。

交通事故を撲滅するには、行政による歩車道分離の快適な道路整備などの道路交通環境の整備とともに、市民一人ひとりが社会を構成する一員である（誰もが交通事故の当事者になる可能性がある）という自覚をもって行動することが重要です。

尊い命を奪う交通事故が恒常的に多発している状況を踏まえ、市民一人ひとりの自覚と行動を通じ、春日部市を「交通事故のない、安全で安心して暮らせるまち」とするため、「交通安全都市」を宣言することを述べています。

なお、この宣言でうたう「わたしたち」とは、市内に住んでいる人だけでなく、市内に通勤・通学する人や市内で活動する団体を含むものです。

②箇条書き文について

1 わたしたちは、交通安全についての正しい知識を身につけ、交通法規を守ります。

○解説

交通事故のない、安全で安心して暮らせるまちを実現するには、最良の交通手段を選択し、秩序ある交通社会を築くことが必要です。そのため、交通安全についての正しい知識を身につけ、交通法規を守って行動することを述べています。

1 わたしたちは、自分の安全だけでなく、周囲の安全にも気を配り、思いやりのある交通マナーを実践します。

○解説

交通事故は、交通法規を守るだけでは防ぐことはできません。自分自身の安全を守ることはもちろんですが、まわりの人や物の安全に気を配ることも必要です。

定められたルールを守るだけでなく、「ゆずりあい」や「子ども・高齢者などの交通弱者への配慮」など、思いやりのある交通マナーを実践することを述べています。

1 わたしたちは、交通安全について、学び、考え、行動するとともに、地域が一体となって交通事故防止に取り組みます。

○解説

道路交通を取り巻く環境は、社会情勢や道路形状、時間帯、天候など、様々な要因によって多様に変化します。また、人間の身体的機能も一定ではありません。

多様に変化する状況の中で交通の安全を確保するには、交通安全について、学び、考え、そしてそれらを行動に移すことが重要です。

事業所や地域などで開催される交通安全講習に積極的に参加することや、自分たちが住んでいる足元である地域が一体となって危険な個所を点検するなどの取り組みを通じ、交通事故防止に取り組むことを述べています。